

パイロットフォレストにおける野生動物自動撮影調査結果について（7月調査分）

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターでは、パイロットフォレストにおいて7月6日から27日までの3週間、自動撮影カメラによる野生動物撮影調査を行いました。今年度は7月と9月の年2回調査予定ですが、7月の調査は機材の操作・設定・集計等に慣れるための準備段階の調査と位置付けています。今回はカメラを合計14台設置。設置箇所は当地域の特徴である別寒辺牛湿原を周回する林道等の周辺としました。

調査の結果、下表のとおり哺乳類ではエゾシカ、エゾタヌキ、エゾリス、ヒグマ、キタキツネ、エゾシマリス、アメリカミンク（外来種）、コウモリ類、鳥類ではヤマシギ、トラツグミ、アカハラ、タンチョウを撮影しました。

表 野生動物自動撮影調査結果集計表（平成 22 年 7 月調査分）

撮影された動物名	撮影枚数（単位：枚）
エゾシカ	35
エゾタヌキ	16
エゾリス	4
ヒグマ	4
コウモリ類	4
キタキツネ	3
エゾシマリス	2
アメリカミンク	2
哺乳類計	70
ヤマシギ	23
トラツグミ	5
アカハラ	1
タンチョウ	1
鳥類計	30
不明鳥獣	14
合計	114

（主な撮影画像）



エゾシカ(7月14日 5:08撮影)



エゾタヌキ(7月15日 20:25撮影)



エゾリス(7月17日 7:07撮影)



ヒグマ(7月17日 11:44撮影)



キタキツネ(7月18日 16:10撮影)



ヤマシギ(7月27日 3:46撮影)